レジメンcode :	C35-38
適応がん種:	  非小細胞肺癌
レジメン名:	Atezolizumab + Bv
間隔:	3週間

備考	

	略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
		テセントリク	1200	mg/body	点滴(30分)	d1
В	Bv	ベバシズマブ(アバスチン)	15	mg/kg	点滴(30分)	d1

day1				
生食	50ml		1 本	
				ルート確保
テセントリク		12	200 mg/body	
生食	250ml		1 本	
		(インラ	インフィルタ	一必須)
	主管①	点滴	30分	
生食	50ml		1 本	
	主管②	点滴	15 分	
ベバシズマブ(アバスチン)			15 mg/kg	
生食	100ml		1 本	
	主管③	点滴	30分	
生食	50ml		1 本	
				フラッシュ
	生食 テセントリク 生食 生食 生食 生食	生食     50ml       テセントリク     250ml       生食     250ml       生食     50ml       主管②       ベバシズマブ(アパスチン)       生食     100ml       主管③	生食     50ml       テセントリク     12       生食     250ml       主管① 点滴     点滴       生食     50ml       主管② 点滴     ベバシズマブ(アバスチン)       生食     100ml       主管③ 点滴	生食     50ml     1 本       テセントリク     1200 mg/body       生食     250ml     1 本       主管①     点滴     30分       生食     50ml     1 本       主管②     点滴     15 分       ベバシズマブ(アバスチン)     15 mg/kg       生食     100ml     1 本       主管③     点滴     30分

〈所要時間 約1時間45分〉

- \*インラインフィルター $(0.2 \sim 5 \mu m)$ を使用する。
- \*調製時には、生理食塩液以外は使用しないこと。
- \*他剤との混注はしないこと。
- \*特に注意する副作用(間質性肺炎、1型糖尿病、肝機能障害、肝炎、大腸炎、甲状腺機能障害、infusion reaction)。
- \*適正使用ガイドの有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連)対処方法を参照する。
- \*臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。

## <国際共同第Ⅲ相試験 IMpower150試験>

観察項目	治療	治療サイクル (3週間間隔投与を1サイクルとして)													治療終了				
既宗填日	開始前	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17 以降	中止時来院
EGFR遺伝子変異、 ALK融合遺伝子	0																		
血清学的検査 (HIV、HBV、HCV)	0																		
腫瘍評価	0	2	0		0		0		0		0		0		0		0	*	
ECOG PS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バイタルサイン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12誘導心電図	0																		
体重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身長	0																		
血液学検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液生化学検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液凝固系検査 PT(INR)	0																		0
尿検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血清妊娠検査	0																		
甲状腺ホルモン検査 (TSH、FT3、FT4)	0	0				0				0				0				**	0

\*48週までは6週毎、その後は9週毎 \*\*4サイクル毎

バイタルサイン:脈拍数、呼吸数、血圧及び体温

血 液 学 検 査:赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、白血球数及び分画(好中球、好酸球、リンパ球、単球、好塩基球、 その他の細胞)、血小板数

血液生化学検査:グルコース、BUN又は尿素、クレアチニン、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、クロール、重炭酸塩又は総CO2、カルシウム、リン、総ビリルビン、ALT、AST、アルカリホスファターゼ、LDH、総蛋白、アルブミン

尿 検 査:尿比重、尿pH、尿糖、尿蛋白、尿ケトン、尿潜血

\*上記項目以外にも、ACTH、血中コルチゾールの検査も定期的に行うこと。